

科目名	教育方法・技術論（情報通信技術を活用した教育の理論及び方法を含む） Educational Methods (Including use of ICT)						
科目担当者	川島 秀樹 KAWASHIMA Hideki						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義／実習	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 自由科目] 経営学部・経営学科 [専門教育科目 自由科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(6)
授業の概要	本科目は情報化社会に適応した、社会を担う子どもたちを育成するための教育の方法、教育の技術を学ぶことを目的とする。情報通信技術に関しては、ICT の活用方法、外部(機 関・システム・サービス)連携、ICT 環境整備、情報セキュリティ、デジタル教材、学習評価、及び情報活用能力（情報モラル含む）などについて学修する。また、タブレット端末や 教育用クラウドサービスなどを活用した実学習を中心とすることで、より効果的な学修を行う。						
授業の到達目標	① 教育に必要な基礎的理論や学習評価の手法を説明することができる。 ② 教育に必要なシラバス・教材・授業方法を作成することができる。 ③ 社会的背景の変化や技術発展を踏まえ ICT を活用した授業改善と活用の意義との在り方、特別支援を必要とする生徒への留意点、ICT を活用し外部機関との連携及び、ICT 環境整備の在り方を理解している。 ④ ICT 教育支援システムを活用し、デジタル教材の作成や効果的な利用方法の指導方法、スタディログによる学習評価、及び情報セキュリティの重要性について理解している。 ⑤ 情報活用能力（情報モラル含む）を正しく理解し説明することができる。						
授業計画・内容	1	教育方法の基礎的理論と実践					
	2	個別的最適な学びと協働的学びの実現					
	3	主体的・対話的な学びの実現に向けて					
	4	特別の支援を必要とする生徒に対する情報通信技術の活用					
	5	オンライン教育に必要な ICT					
	6	情報モラルを育成するための基礎的な指導法					
	7	ICT 活用の留意点と ICT 機器の運用管理					
	8	授業・校務を行う上での基礎的な技術					
	9	デジタル教材の作成と活用方法					
	10	教育データを活用した指導と評価及び情報管理					
	11	統合型校務支援システム等校務の情報化の推進、及び学校 ICT 環境整備の在り方と外部機関との連携					
	12	各教科の特性に応じた指導事例の研究					
	13	基礎的な学習理論を踏まえた学習指導案の作成					
	14	模擬授業グループ 1					
	15	模擬授業グループ 2					
授業外学修 (事前学修)	毎回、教科書の対象範囲を一読し、専門用語の意味などをあらかじめ調べておく。（毎週 2 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	次回の授業内容を予習しておくこと。授業中に指示した課題が未完成の場合には授業後に完成させること。（毎週 2 時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	課題 毎回の取組み、平常点（講義中の態度・質疑・発言等）				60% 40%		①②③ ④⑤
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	PDF またはプリント配布						

参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校学習指導要領(H30) 情報編</li> <li>・高等学校情報科「情報Ⅰ」教員研修用教材</li> <li>・高等学校情報科「情報Ⅱ」教員研修用教材</li> <li>・必要な資料は、適時配布する。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示があったときは、ノートパソコンと LAN ケーブルを必ず持参すること。</li> <li>・パソコンの基本的な操作方法及び、情報処理基礎、情報処理応用の講義内容を習熟している前提で講義を進める。</li> <li>・講義では教育方法の実践や相互評価を行う。そのため、よほどの事情がない限り参加すること。</li> <li>・所定の講義回数を超える欠席については単位を認定しない。</li> <li>・授業計画・内容については、受講生の理解・関心により一部変更することがある</li> <li>・教職の必修科目であるので、五分の四以上の出席を要件とする。</li> </ul>